

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

1 良質で安全な医療の提供

地域における中核的な公的医療機関として、市民の多様なニーズに応え、市民の健康の維持および増進に寄与するため、医療機器の整備等により、がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病・精神疾患の5疾病に対応する医療や救急医療などを提供します。

(1) 高度・専門医療の提供

市立秋田総合病院（以下「当院」といいます。）の行う高度・専門医療を充実させ、最新・最適な医療を提供するため、血管撮影装置等の医療機器を更新します。

加えて専門的な研修の受講等により医療従事者の専門性を高め、診療機能の向上に努めます。

ア がんへの対応

秋田県がん診療連携推進病院として、引き続き、がんに対する難易度の高い外科的治療をはじめ、低侵襲の非外科的治療、化学療法および放射線治療を行うとともに緩和医療を効果的に行い、集学的治療を実施します。

具体的には、大腸がん肝転移に対しては、手術と化学療法を組み合わせた集学的治療を推し進め、増え続ける大腸がん患者の治療成績の向上を図ります。

また、膵がんに対する治療では、切除可能かどうかの判断が難しいボーダーライン症例に対して術前化学療法＋放射線療法を積極的に行い、根治性を高めてから手術を行って、その治療成績の向上を図ります。

また、低侵襲手術である内視鏡的手術や腹腔鏡下手術を適用を見極めながら積極的に実施します。

さらには、乳がんについては、ハイリスク乳がん患者に対して

乳房MRI検診を引き続き実施し、乳がんの早期発見に努めます。

イ 脳卒中への対応

脳卒中をはじめとした脳血管疾患に対しては、救急医療に対応する体制を維持するとともに、急性期および回復期リハビリテーションの充実に努めます。

ウ 急性心筋梗塞への対応

24時間対応が可能な冠動脈カテーテル治療とその後のICUでの管理により、更なる救命率の向上を目指します。

エ 糖尿病への対応

チーム医療による食事療法、運動療法、薬物療法等の糖尿病治療を提供するとともに、予防目的を含めた糖尿病教室を引き続き定期的に開催することにより、患者の意識啓発等の推進に努めます。

オ 精神疾患への対応

市内における総合病院で唯一の精神科の閉鎖病棟を引き続き運営します。

身体合併症を有する精神疾患の対応病院として、総合病院に求められる精神医療の充実に努めます。

また、統合失調症や気分障害などの急性期入院治療、多様化と重症化する神経症圏の病態（摂食障害や人格異常など）への外来・入院治療に加え、児童思春期精神医療への積極的な取り組みを行います。

(2) 救急医療の提供

救急外来において24時間365日、救急患者の受入れを行うとともに、ICU（集中治療室）において、急性心筋梗塞、院外心肺停止、心不全、アナフィラキシーショック、大量薬物中毒等の重篤患者に高度の集中治療を行います。

【目標指標】

	平成25年度実績	平成27年度目標
救急搬送患者受入件数	2,023件	2,200件

(3) 採算性が低い医療の提供

採算性が低く民間医療機関では提供が不十分な医療については、市が設置する医療機関の公的使命として、今後も継続して提供します。

ア 結核医療

結核病床を有している秋田周辺医療圏内で唯一の医療機関であることを踏まえ、地域において求められる結核病床数を維持し、引き続き結核医療を提供します。

また、今後増加することが予測される潜在性結核感染症患者の診断と治療に積極的に取り組みます。

イ 精神医療

(1)のオの精神疾患への対応のとおり、精神医療の充実に努めます。

(4) 健診体制の充実

市民の疾病の予防や早期発見・早期治療のため、健康管理センター運営協議会においてきめ細かな検診項目の設定や利便性の向上について検討し、人間ドックの充実を図るほか、特定健診・特定保健指導や企業検診の受託などを行います。

また、新たに導入した健診システムを活用し業務の効率化を図ります。

(5) 医療安全対策等の強化

ア 医療安全対策の強化

職員からのインシデント・アクシデント報告を徹底させ、毎月開催する医療安全対策委員会でその分析を行いリスクを回避する方策を立案するなど医療安全対策に取り組むとともに、全職員に対し年2回以上の研修受講を義務付けて医療安全についての意識の向上を図り、引き続き医療を安全に提供するよう努めます。

また、院内暴力の抑止のため、警備員の24時間配置を継続します。

【目標指標】

	平成25年度実績	平成27年度目標
インシデント報告数	932件	1,025件
医療安全に関する教育・研修会開催数	11講座24回	16講座31回

イ 院内感染防止対策の強化

毎月開催の院内感染対策委員会や院内感染対策チームによる週1回の院内巡回により、院内感染に係る情報の収集、調査、分析、対策の立案等を行い、感染対策専用掲示板や院内情報ネットワークの活用により情報の周知に努めて院内感染の防止を図ります。

また、全職員に対し年2回以上の研修受講を義務付けて院内感染についての知識の習得と意識の向上を図り、引き続き病院全体として院内感染防止に取り組みます。

さらには、感染防止対策地域連携加算の算定病院として、連携病院の評価を受け、感染防止対策の実効性を高めます。

(6) 女性と子どもに優しい病院づくり

女性特有の疾患に関する医療や小児医療の充実を図り、女性と子どもに優しい病院を目指します。

ア 女性に優しい病院づくり

乳がんや子宮がんなど女性特有の疾患に関する医療の一層の充実を図るとともに、日中は来院できない市民のため夕方に秋田市の乳がん・子宮頸がん検診を行う「夕暮れ乳がん・子宮頸がん検診」を引き続き実施するなど、女性が受診・相談しやすい医療環境の整備に努めます。

イ 小児医療体制の充実

小児科医が平日24時間診療を行う小児科救急を引き続き実施するとともに、アレルギー外来や子どもの心相談外来などの特殊外来の継続実施により、秋田市の目指す「子どもを生き育てやすい環境づくり」の一翼を担います。

ウ 産科医療の充実

緊急母体搬送の受入れを行うほか、合併症妊娠、切迫流産、重症妊娠中毒症の管理を行うなど、正常分娩以外にも対応し、安全で快適な出産環境を提供します。

また、秋田県産婦人科医会等が実施する「妊娠中からの子育て支援事業」に参加し、秋田市と連携して患者の妊娠・出産・育児に関する悩み等に対応します。

エ 遺伝カウンセリング外来の運営

遺伝病又は遺伝子に関係する疾病や問題に関してカウンセリングを行い、遺伝病等に関する詳しい情報や専門的な情報を提供するとともに、心理面のサポートを行います。

オ 病児保育施設の運営

子育て世代が安心して働けるように引き続き病児保育施設を運営するとともに、ホームページの充実や園開放等の行事を企画し登録数の増加に努めます。

(7) 高齢者に配慮した医療の充実

総合診療科の機能を充実し、専門各科と連携して、いくつもの疾病を併せ持つ高齢者等への対応に努めるとともに、常勤医の赴任に伴い加齢性の眼疾患に対する手術を再開します。

また、長寿化に伴い高齢の精神病患者が増加していることから、身体合併症を有する精神疾患の対応病院として、その機能を十分に果たします。

また、もの忘れ外来において、認知症の早期発見・早期治療に努めるほか、地域における専門的な診断や相談等を行う認知症疾患医療センターの指定に向け、積極的に取り組みます。

さらに、運動器障害を有する高齢者に対しては、適切に傷病の治療を行うとともに早期に開始される急性期リハビリテーションや回復期リハビリテーションの充実を図り、高齢者の残存機能を引き出し、自立した生活への復帰を促します。

また、ロコモティブシンドロームについての予防医学的なりハビリテーションの展開を図ります。

(8) 患者の視点に立った医療の実施

患者や家族が納得して医療を受けられる体制を維持するとともに患者サービスの向上を図ります。

ア 患者や家族の権利の尊重

患者や家族に対して治療方針や治療経過などを丁寧にわかりやすく説明し、納得の上で治療方法を選択できるよう、インフォームドコンセントの充実・徹底を図ります。

また、医療を自由に選択する患者の権利を守るため、当院の患者が主治医とは別の意見を求める場合には、必要な資料や画像等を貸出しするとともに、他の医療機関の患者に対しては、セカンドオピニオン外来により適切に対応します。

イ 患者サービスの向上

(ア) 患者待ち時間の短縮

地域医療機関と連携し、逆紹介を行うなどにより予約患者数の適正化を図るほか、医師事務作業補助者（医療クラーク）の増員による診療支援等を行い、待ち時間の短縮に努めます。

また、患者待ち時間調査を行い、医療機能・患者サービス向上委員会において待ち時間の短縮および待ち時間の苦痛軽減策についての検討を継続して行います。

(イ) 患者満足度調査の実施

入院患者と外来患者に対して患者満足度調査を実施し、医療機能・患者サービス向上委員会においてその分析と患者サービスの向上についての検討を行います。

【目標指標】

	平成26年度実績	平成27年度目標
入院患者満足度 (満足+やや満足)	97.9%	98.5%
外来患者満足度 (満足+やや満足)	90.9%	94.0%

(ウ) 接遇に関する研修の実施

患者等の立場に立った、心のこもった接遇が実践できるよう全職員を対象に全体での接遇研修を実施するほか、各部門における接遇リーダーの育成により継続的な接遇研修を実施します。

(エ) 院内環境の整備

患者や来院者に快適な環境を提供するため、施設設備の整備や修理を計画的に実施するほか、院内に絵画を展示します。

(オ) 病院ホームページの充実

来院者があらかじめ病院に関する情報を入手し、安心して病院を利用できるよう、ホームページに掲載する病院案内や治療実績等の情報を充実させ、随時および定期的に更新します。

(カ) 院内行事の実施

院内において音楽会や病院祭を開催し、患者や市民へ安らぎや喜びの場を提供します。

(9) 病院改築等に関する調査、検討

病院改築等に関する検討委員会を立ち上げ、改築後の病院施設の規模や機能の検討を進めます。

(10) 病床機能の検討

当院が選択すべき病床機能について、秋田県における地域医療ビジョンの策定状況を注視しながら中長期的視点で検討します。

2 医療に関する調査および研究

院内がん登録やICD疾病登録など、治療実績や医療に関する情報の蓄積・管理を行うとともに、研究の用に供するためそれらの情報を医師等に提供します。

また、診断や治療など臨床に応用するための臨床研究について、倫理委員会の承認を受けた上で実施します。

さらには、新薬の開発等に貢献し、治療の効果と安全性を高めるための治験を治験審査委員会の承認を受けた上で実施し、審査結果についてはホームページで公表します。

3 人材の確保と育成

良質で安全な医療を提供し、市立病院が担うべき医療機能を充実さ

せるために必要な人材の確保と育成を図ります。

(1) 医療職の人材の確保

優秀な医療職の人材を確保するため、ホームページ等様々なメディアによる効果的な情報発信やPRを実施するとともに、院内保育所の運営など、職員にとって働きやすい就労環境の充実に努めます。

また、医師や看護師が本来の業務に専念できるよう、負担軽減に対する体制を整備します。特に医師については、医師事務作業補助者の増員や院外からのタブレット端末による画像読影などにより負担軽減を図ります。

ア 医師

大学等の関係機関と連携を進めるとともに、一定の条件を満たす医師については正職員化を図り、医師の確保に努めます。

また、教育研修プログラムの一層の充実により、臨床研修医の確保を図ります。

イ 看護師

看護師養成機関との連携や就職説明会の開催、採用試験の複数回実施等により、看護師の確保に努めます。

ウ 医療技術者

医療環境や業務量の変化を見極め、それぞれの職種において適正な人員の配置に努めます。

【目標指標】

	平成26年度実績	平成27年度目標
医師事務作業補助者	17人	22人

(注) 3月1日時点

(2) 人材育成

職員研修規程に基づく組織的な研修実施体制により、職員全員に対し、それぞれの職種や職責に応じた研修を実施するとともに、医療等の専門知識の向上や新たな医療技術の習得のため、学会や研修会等への積極的な参加を促します。

また、職務上必要な専門資格や認定資格の取得を支援するほか、必要な職員確保に向け奨学金制度を導入します。

4 地域医療への貢献

地域の医療機関等との連携を強化するとともに、研修医の受入れ等により医療従事者の育成に努めるなど地域医療に貢献します。

(1) 地域の医療機関等との連携強化

当院が主催する「地域医療連携の会」を年2回開催するとともに地域医療連携誌「らしん盤」の毎月発行などにより、地域の急性期病院として、かかりつけ医をはじめとした地域の医療機関との連携強化に努めます。

そして、紹介による急性期患者の受入れや急性期を脱した患者の逆紹介を一層推進するほか、必要に応じて、福祉機関や保健機関、介護施設等とも連携を図ります。

また、当院の病床の一部を地域医療機関に開放し、連携の強化と医療資源の有効活用を図ります。

(2) 教育研修の推進

地域の医療を担う医療従事者の育成に貢献するため、研修医や医療教育機関からの実習生の受入れを行うほか、専門医等の育成に努めます。

ア 研修医の育成

教育研修プログラム等の一層の充実を図り、臨床研修指定病院として、研修医の技術・知識の向上に寄与します。

イ 実習生の受入れ

秋田大学医学部、秋田市医師会立秋田看護学校等の実習病院として、次世代を担う医師・看護師の教育に努めるとともに、医療技術者の育成のため、薬剤部・栄養室・リハビリテーション科等においても実習生の受入れに努めます。

また、秋田市との救急業務に関するメディカルコントロールについての協定により、救急救命士の病院前救護に関する医学的知識や技能の習得に協力します。

ウ 専門医等の育成

各種学会が認定する専門医の研修施設として、専門医の育成に努めるなど、地域における医療の中核となる人材の育成を図ります。

(3) 市民への保健医療情報の提供・発信

市民の健康づくりを推進するため、各種院内教室や健康講座を実施するとともに、保健所や公民館など市の関係機関と連携して出前講座や民間の健康食食堂との連携による健康カフェを実施し、医療や健康に関する情報の発信および普及啓発に努めます。

【目標指標】

	平成25年度実績	平成27年度目標
院内教室等実施回数	41回	40回
出前講座・健康カフェ実施回数	29回	50回

5 災害時の体制強化

大規模な災害や事故などの発生時に被災地に駆けつけ救急医療を行うために組織した災害派遣医療チーム（DMAT）の充実を図り、2チーム体制を目指します。

また、災害時には、災害協力医療機関として、秋田市保健所・秋田市医師会等の関係機関や災害拠点病院と協力して対応に当たることとし、院内での災害時対応訓練を強化するとともに3日分以上の災害備蓄品を確保します。

さらには、病院間災害支援協定を締結している仙台市立病院および山形市立病院済生館との連携を維持し、災害時の人的・物質的援助を優先的に提供しあうこととします。

第2 業務運営の改善および効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

1 経営企画・分析力の向上

経営企画部を設置し、情報部門の一元化を図るとともに、経営戦略的な観点で診療情報等の分析を行い、経営の強化に繋がります。

また、平成27年度においても職務経験者採用を行い、病院経営に関する知識や経験を有する人材の確保を図ります。

2 外部評価

公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する病院機能評価の次回更新（8月）に向けて、患者サービス・医療機能向上委員会内に病院機能評価の受審準備のための専門部会において、当院が提供する医療の質と患者サービスについての点検を行います。

3 効率的な診療体制の構築

眼科診療や手術等のシステムを導入し、電子カルテシステムと接続して、患者情報の共有化と医療提供の効率化を図ります。

また、院内のクリティカルパス（クリニカルパス）について、随時内容の見直しを行い、医療の標準化を推進します。

4 経費の節減

契約に際しては、競争性を確保しつつ、提案方式による業者選定、複数年契約、事業種類を組み合わせた複合契約など多様な契約手法を活用し、契約金額の圧縮に努めます。

また、安全性や供給安定性に配慮しつつ、可能な限り後発医薬品への切替えを推進するほか、預託型SPDの導入等により経費の節減に努めます。

【目標指標】

	平成25年度実績	平成27年度目標
医業収益に対する診療材料費割合（税抜き）	10.2%	10.0%
医業収益に対する薬品費割合（税抜き）	12.0%	11.6%

	平成27年度目標
後発医薬品使用率 (数量ベース)	60.0%

5 収入の確保

診療報酬改定等の制度改正への迅速かつ適切な対応や未収金対策の強化により医業収入の確保に努めます。

(1) 診療報酬請求事務の体制強化

診療報酬請求事務を行っている委託業者を指導できる高い専門知識を持つ職員を採用又は育成し、診療報酬改定等に迅速かつ適切に対応することができる体制を構築して診療報酬の請求漏れや減点等の防止を徹底するよう努めます。

(2) 未収金対策の強化

入院時における医療費の支払いについての説明を徹底するとともにクレジットカード決済を継続し、未収金の発生防止に努めます。

また、未収金が発生した場合には、債権管理規程および未収金対策マニュアルに基づき、未納者に対して督促等を行い、一定の期間が経過しても納付がなされない場合には、必要に応じて支払督促の申立て等の法的措置を行うほか、回収業務の民間委託を引き続き実施し未収金の回収に努めます。

【目標指標】

	平成25年度実績	平成27年度目標
個人分徴収率（現年度分）	98.3%	98.4%

(注) 次年度5月末日時点

(3) 7：1入院基本料の堅持

7：1入院基本料を維持して、収入の確保を図ります。

(4) 医業外収入の確保

病院資産を有効活用するなど、新たな収入の確保のための検討を行い、実施可能なものについては、具体的な取り組みを進めます。

第3 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画および資金計画

1 予算（平成27年度）

（単位：百万円）

区 分	金 額
収入	
営業収益	10,558
医業収益	9,460
運営費負担金等	1,056
補助金等	42
営業外収入	105
運営費負担金等	14
補助金等	0
その他収入	91
資本収入	749
運営費負担金等	221
長期借入金	526
その他	2
計	11,412
支出	
営業費用	9,800
医業費用	9,513
給与費	5,551
材料費	2,168
経費	1,740
研究研修費	54
一般管理費	287
営業外費用	176
資本支出	954
建設改良費	610
償還金	344
計	10,930

2 収支計画（平成27年度）

（単位：百万円）

区 分	金 額
収益の部	11,120
営業収益	11,033
医業収益	9,569
運営費負担金等収益	1,056
補助金等	408
営業外収益	87
運営費負担金等収益	13
補助金等収益	13
その他営業外収益	61
臨時収益	0
費用の部	10,764
営業費用	10,581
医業費用	10,299
給与費	5,764
材料費	2,092
経費	1,625
減価償却費	766
研究研修費	52
一般管理費	282
営業外費用	176
臨時損失	7
純利益	356

3 資金計画（平成27年度）

（単位：百万円）

区 分	金 額
資金収入	14,651
業務活動による収入	10,663
診療業務による収入	9,460
運営費負担金等による収入	1,070
その他の業務活動による収入	133
投資活動による収入	223
運営費負担金による収入	221
その他の投資活動による収入	2
財務活動による収入	526
長期借入による収入	526
前期年度計画からの繰越金	3,239
資金支出	10,930
業務活動による支出	9,976
給与費支出	5,758
材料費支出	2,168
その他の業務活動による支出	2,050
投資活動による支出	610
有形固定資産の取得による支出	610
財務活動による支出	344
長期借入金の返済による支出	0
移行前地方債償還債務の償還による支出	344
次期年度計画への繰越金	3,721

第4 短期借入金の限度額

1 限度額 1,000百万円

2 想定される短期借入金の発生理由

(1) 運営費負担金等の受入れ遅延等による資金不足への対応

(2) 賞与の支給等一時的な資金不足への対応

(3) 医療機器等の購入に係る一時的な資金不足への対応

第5 出資等に係る不要財産等の処分に関する計画

なし

第6 その他の重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

なし

第7 剰余金の使途

決算において剰余金が生じた場合は、病院施設の整備、医療機器の購入等に充てます。

第8 その他業務運営に関する重要事項

1 法令・行動規範の遵守

医療法をはじめとする各種関係法令や臨床倫理に係るガイドライン等を遵守し、倫理的な問題を含むと考えられる医療行為については、病院内の倫理委員会又は治験審査委員会において十分な検討を行います。

また、患者の個人情報保護および患者や家族からの情報開示請求については、秋田市個人情報保護条例（平成17年秋田市条例第11号）および秋田市情報公開条例（平成9年秋田市条例第39号）に基づき適切に対応します。

なお、職員の倫理と行動規範については、その確立のため、職員倫理規程および職員服務規程の周知徹底を図るとともに、全職員を対象にコンプライアンス研修を実施します。

2 新たな人事制度の構築と就労環境の整備

職員の意欲を高め、能力を最大限に発揮させるため、新たな人事制度構築のための準備を行うとともに、職員の就労環境の整備を図ります。

(1) 新たな人事制度の構築

職員の勤務成績等を適正に評価する人事評価制度やその評価結果を反映する給与制度などの次期中期目標期間からの導入に向けて、地方公務員における制度の動向等注視し取り組みを進めます。

(2) 就労環境の整備

地域医療を守る使命を全ての職員が共有し、一体となって質の高い医療を提供できるよう、ワーク・ライフ・バランスに配慮した就労環境の整備に努めます。

ア 短時間勤務正職員や夜勤専門看護師の制度について検討するとともに、看護師の多様な勤務シフトについて試行します。

また、育児休業、介護休業などの福利厚生制度についての周知を図るため、説明会等を実施するほか、必要な情報をいつでも閲覧できるようホームページに職員専用サイトを設けます。

イ 院内保育所を設置・運営し、職員の育児を支援します。

ウ 職員の健康保持のため、産業医等によるメンタルヘルスを含む健康相談体制を維持するほか、衛生委員会を毎月開催します。

3 移行前の退職給付引当金に関する事項

移行前の退職給付引当金の不足額1,080百万円のうち、平成27年度分として216百万円を計上します。

第9 その他市の規則で定める業務運営に関する事項

1 施設および設備に関する計画（平成27年度）

（単位：百万円）

施設および設備の内容	予定額	財源
病院施設および医療機器等整備	526	秋田市からの長期借入金等